

口頭発表におけるルーブリック評価表【博士課程】

所属分野

学年

氏名

	A. 優れている	B. 合格	C. 不十分	評価
背景と目的	研究の背景をよく理解しており、目的もはっきりしている	研究の背景を理解しており、目標も定まっているが不十分な点が散見される	背景に対する知識が不十分であり、目的もはっきりしていない	
研究方法	研究方法は、目的を達成する上で十分なものである	研究方法は、目的を達成することができると思われるが、不十分な点も散見される	研究方法は、目的を達成する上で不十分である	
結果	質・量ともに研究結果は十分なものである	必要な研究結果はひとつおり得られているが、不十分な点も散見される	質・量ともに研究結果は不十分である	
統計解析	統計解析は正しい方法で十分に行われている	統計解析は正しい方法で行われているが、不十分な点も見られる	統計解析は不適切且つ不十分である	
結果の解釈	結果の解釈は根拠に基づき理にかなっており、過去の研究との関連・整合性や研究の限界についての考察も十分なされている	結果の解釈・考察は概ね良いが、不十分な点も見られる。	結果の解釈に若干無理があり、考察も不十分である。	
研究の独創性、分野への貢献	研究に独創性/革新性があり、分野への貢献の可能性も明確で、それを適切に主張できている	研究の独創性、位置付け、またその主張について不十分な点も見られる。	独創性/革新性に乏しく、分野への貢献も明確に示し、主張できていない。	
研究倫理	研究倫理をよく理解している	研究倫理をおおむね理解している	研究倫理に対する理解が不十分	
研究発表の論理的なわかりやすさ	上記の背景、目的、方法、結果、解釈などの重要点が印象に残るように適切に強調され、理解しやすい。	必要な説明がないなど、いつくか理解しにくい点が見られる。	論理的なつながりが不十分で理解しにくい。	
社会に対する発信という意味での発表の分かりやすさ	専門分野以外の人でも十分に重要点が把握できる	専門分野の人にしかわからない方法、解釈などが一部入っている。	専門分野以外の人理解できるような配慮が非常に少ない。	
質疑応答	質問をよく理解し、的確に要点を答えている。	質問に対して一部の確でない応答をしている。	質問の理解、あるいは応答が要点をおさえておらず不十分である。	
自分自身の貢献の程度	自分自身が積極的に取り組んだ部分が多く、明確である。	自分自身の貢献がやや不明確。	自分自身の貢献の程度が不十分あるいは不明瞭。	
評価者コメント				

評価年月日

評価者